

科学者が創造主に出会った

～ 主が定められた自然法則の中で頂きたいのち ～

成田中央キリスト教会 2012. 6. 3 (日)

京都インターナショナル・ユニバーシティ 安藤和子

モーセは答えて申し上げた。「ですが、彼らは私を信ぜず、また私の声に耳を傾けないでしょう。『主はあなたに現われなかった。』と言うでしょうから。」主は彼に仰せられた。「あなたの手にあるそれは何か。」彼は答えた。「杖です。」すると仰せられた。「それを地に投げよ。」彼がそれを地に投げると、杖は蛇になった。モーセはそれから身を引いた。主はまた、モーセに仰せられた。「手を伸ばして、その尾をつかめ。」彼が手を伸ばしてそれを握ったとき、それは手の中で杖になった。(出エジプト 4:1-4:4)

(1) 科学者としての人生

第二次世界大戦によって、日本の国土、人々の最低限の生活も、そして人の心も不安のどん底に叩きのめされた時代、文字通り食べるものの無かった時代に思春期を過ごしました。

そのことは、人生哲学を構築する上で、大きな影響を与えました。

人間的に、経済的精神的に自立し、自己を律して生きる人間として成長するために邁進しました。

全宇宙を造り、ご自身のみ姿に似せて人を造られた全知全能の創造主がおられることなど夢にも知らずに、大人になり科学の世界に没頭して、骨の髄まで無神論者として生きていました。

すべてのことが物質的レベルで解明されるはずである、人は生きて、寿命が尽きて死んだら、それでその人のすべてはお終いであると信じ切っていました。

(2) 一方的な神の恵みにより、イエス・キリスト信仰を得て

しかしながら、主の大きな憐れみにより、創造主を信じる者と変えられた。

わたしがあなたを選んだ (ヨハネ 15:16)

あなたはわが目に尊く、重んぜられるもの、わたしはあなたを愛している (イザヤ 43:4)

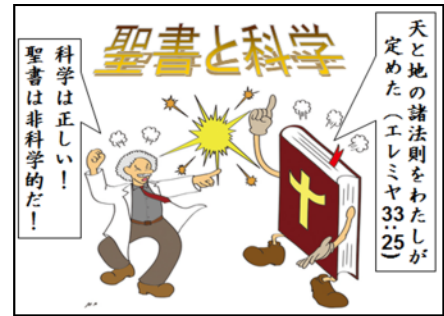
しかし、・・・大人として、科学者として、人生哲学、理念が確立してただけに、混迷の2-3年を過ごしました。死生観が混乱し、科学と聖書との関係も整理が付きませんでした、

* 理不尽で、非科学的な聖書(だと誤解していました)をそれでも信じなければならないという葛藤・特に、創世記1章の創造の御業は、どう考えて良いか全く判りませんでした。そんな中で、創造の1日は千年でも、地質学の一時代に当たる数億年でも良いのだと教わりました(一日一時代説)。そして、本当に残念なことの、このサタンによる目くらましにすっかり誤魔化されてしまいました。こうして、聖書を人間の営みである科学に無理矢理に押し込めることに成功して、暫く安心していました。

(3) 科学信仰・・・日本中に満ち満ちている

- * 科学は間違わないと信じる信仰
- * 進化論は科学・だから進化論は正しい
- * 聖書は非科学的・聖書を科学で評価・証明されなければ聖書が間違いだと信じる・人間が神。人の判断が絶対

科学者として聖書と科学との関係について、悩み考え続けました。



(4) 一日一時代説の非科学的な論理に気付く

- * 2-3ヶ月経って、1日が千年とか、数億年とかはあり得ないことに気が付きました。生物科学者としての不明を恥じました。この恐ろしい人間中心主義、進化論的思考方に気が付きました。

例えば、1年が千年だったとします。

第3日：花・種・果実をつけて植物が創造されました。花

は受粉せず朽ち果てました。翌年、僅かに受粉、果実も種子も非常に少ない。植物が無事に生長し、繁殖するためには昆虫や鳥などの助けが必要なのです。数年で樹木だけになり、そして遂にすべてが滅亡。土地も貧弱になりました。海と大地を持ち、生物のいない地球が空中に浮かんでいました。

第5日・第6日：動物が千年ごとに創造されても餓死してしまいます。いのちのない地球が漂っているだけです。動物の生きるエネルギーはすべて植物から来るからです。

植物と動物は互いに支え合って栄えるように造られたのです。



創造主の著書を書かれている通りに読まなければならないこと、創造主に対する尊敬をしっかりと築き上げて頂いて、信仰がしっかりと骨の髄まで染み通りました。

(5) 献身の召命 (ヨハネ 21:17~19)

最初の試練を通過した後に、イエス様のことが優先順位の第一になり、生活の中心になってきました。

そして、主は研究生活に終止符を打って、献身しなさいと召し出されました。

与えられた聖書箇所は、ヨハネ 21章、ペテロが召命された箇所です。

「まことに、まことに、あなたに告げます。あなたは若かった時には、自分で帯を締めて、自分の歩きたい所を歩きました。しかし年をとると、あなたは自分の手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます。」 (ヨハネ 21:18)

信仰を持たないで、科学者として生きてきた年月が長かったので、本当に主からの声であるのか、ただの人間的な熱心でしかないのか、判断するまでに時間が掛かりました。

が、最終的にそれが、主からの声であると判断して、命令に従いました。

(6) 与えられた主に仕える道：貧しい羊飼いの杖

「主は彼に仰せられた。『あなたの手にあるそれは何か。』彼は答えた。『杖です。』」 (出エジプト 4:2)

私の貧しい杖は、科学であり、そして教育者であることでした。

進化論の間違いを伝えること、聖書と科学との正しい関係を伝えること、そして、主の創造を正しく伝えること。与えられた使命はそういうことでした。

(7) 聖書と科学との関係

- * 科学信仰・進化論は間違い
- * 科学は万能でも、不変でも、絶対でもない
- * 人間の行う研究は、^{しこうさくご}試行錯誤し、間違いをし、間違いに気づいたら訂正して、科学は時代と共に進歩していく。
- * 天地万物を創造された主は、すべての自然法則を定められた。その自然法則を学ぶのが自然科学である。
- * 自然科学の研究は、主に導かれて進歩してきたのであり、今後もそのようであるべき。
- * 社会科学、人文科学、神学、聖書解釈を含めて自然科学も、すべて被造物である人間の営みであり、間違える可能性を持っている。
- * 聖書を科学で検証するのではなく、科学を聖書で検証する。すべての判断は聖書を正しく読むことから始まる。



(8) 「結語」

- * 十字架の犠牲と復活は誰のため？
神を冒^{ぼうとく}瀆・人間中心主義・人間が神・進化論などに毒された人々のため
- * キリストの十字架・復活により、^{かんぺき}完璧な姿から^{かんぺき}完璧な姿が回復
わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。(ヨハネ 14・6)

推奨図書及び文献：安藤和子の著作

- * 「ダーウィン・メガネをはずしてみたら」 いのちのことば社・フォレストブックス
- * 「進化論か創造論か」ハーベストセミナーDVD、& ハーベスト・タイム Vol. 229
- * 「人は神のかたちに創造された」JCB-Networkに4年間連載、米国ビジネスマンの機関紙
- * 「信仰に至った経緯」「信仰と科学」「進化論と創造論」等に関する情報
ハーザー2004年6 & 7月号、「リバイバル新聞 2005年9月4日号」
- * 「聖書と科学」 <http://www.tcc-keihan.org> : 進化論・創造・ノアの洪水など、また、様々な珍問・難問への解答など、科学的視点に立って易しく解き明かす。読み切り連載ショートメッセージ(朗読付き)、CD(イラスト付き)
- * 安藤和子のブログ <http://blog.andowako.jp/> ホームページも近日中に開設予定。

推奨図書及び文献：クリエーション・リサーチの出版

- * クリエーション・リサーチ誌
- * 「偽りの構図」ヘンリー・モリス著、宇佐神 正海訳
- * 「創世記の記録」ヘンリー・モリス著
- * DVD「聖書の世界観・人生観の土台—創世記1～11章—」 宇佐神 実講師、8講義4枚組